

2021年度第3四半期 決算補足説明資料

－2022年2月1日－

京王電鉄株式会社

1. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2021年度第3四半期の業績		
	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減 (増減率)
営 業 収 益	2,305	2,183 (2,492)	△ 121 (△ 5.3) (186) (8.1)
営 業 利 益	△ 151	41	192 (—)
経 常 利 益	△ 126	77	203 (—)
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 131	30	161 (—)
E B I T D A	111	277	166 (149.7)
減 価 償 却 費	258	232	△ 25 (△ 10.0)

※EBITDAは、営業利益＋減価償却費＋のれん償却額により算出している。

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用

※下段 () は「収益認識に関する会計基準」等適用前の数値を記載

2. セグメント別の概況

- 営業収益は、不動産業、その他業と「収益認識に関する会計基準」等の適用の影響が大きかった流通業で減収
- 営業利益は、各セグメントで改善

(単位：億円、%)

	営業収益			営業利益		
	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減 (増減率)	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減 (増減率)
運 輸 業	660	750 (749)	89 (13.6) (88) (13.4)	△ 115	15	130 (—)
流 通 業	954	728 (1,022)	△ 226 (△ 23.7) (67) (7.1)	4	20	15 (352.9)
不 動 産 業	333	321 (322)	△ 11 (△ 3.6) (△ 10) (△ 3.2)	80	82	2 (3.2)
レジャー・サービス業	179	232 (250)	53 (29.6) (70) (39.5)	△ 147	△ 101	45 (—)
そ の 他 業	415	396 (396)	△ 19 (△ 4.7) (△ 19) (△ 4.6)	28	29	0 (1.5)
連 結 修 正	△ 237	△ 244 (△ 248)	△ 7 (—) (△ 10) (—)	△ 1	△ 3	△ 2 (—)
連 結	2,305	2,183 (2,492)	△ 121 (△ 5.3) (186) (8.1)	△ 151	41	192 (—)

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用

※下段 () は「収益認識に関する会計基準」等適用前の数値を記載

3. セグメント情報（運輸業）

■ 鉄道事業では、依然として新型コロナウイルス感染拡大前に比べて鉄道輸送人員が減少しているものの、主に4～5月を中心に前年同期と比べて改善し、旅客運輸収入が増収

■ バス事業およびタクシー業においても増収

(単位：億円、%)

	2021年度第3四半期の業績		
	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減 (増減率)
営 業 収 益	660	750	89 (13.6)
(鉄 道 事 業)	434	484	50 (11.6)
(バ ス 事 業)	186	215	28 (15.5)
(タ ク シ ー 業)	64	72	8 (12.5)
(そ の 他)	17	18	0 (3.1)
(消 去)	△ 42	△ 41	1 (—)
営 業 利 益	△ 115	15	130 (—)

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用

※下段 () は「収益認識に関する会計基準」等適用前の数値を記載

3.セグメント情報（運輸業）

鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

		2021年度第3四半期の業績			
		2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）	
輸 送 人 員	定 期	204,924	220,789	15,865	(7.7)
	(通 勤)	175,750	169,364	△ 6,386	(△ 3.6)
	(通 学)	29,174	51,425	22,251	(76.3)
	定 期 外	133,571	160,815	27,244	(20.4)
	合計	338,495	381,604	43,109	(12.7)
旅 客 運 輸 収 入	定 期	19,077	19,145	67	(0.4)
	(通 勤)	18,001	17,240	△ 761	(△ 4.2)
	(通 学)	1,075	1,904	829	(77.1)
	定 期 外	21,857	26,558	4,700	(21.5)
	合計	40,934	45,703	4,768	(11.6)

4. セグメント情報（流通業）

- 百貨店業では、前年同期と比べて改善したが、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、減収
- ストア業では、食料品等の売上が前年並みに推移したものの、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、減収
- 「収益認識に関する会計基準」等を適用する前に換算した場合、流通業全体で増収

(単位：億円、%)

	2021年度第3四半期の業績			
	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）	
営 業 収 益	954	728	△ 226	(△ 23.7)
(百 貨 店 業)	402	202	△ 200	(△ 49.7)
(ス ト ア 業)	378	355	△ 23	(△ 6.1)
(書 籍 販 売 業)	44	40	△ 4	(△ 9.8)
(ショッピングセンター事業)	99	104	5	(5.3)
(そ の 他)	72	67	△ 4	(△ 6.6)
(消 去)	△ 42	△ 42	0	(—)
営 業 利 益	4	20	15	(352.9)

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用

※下段（ ）は「収益認識に関する会計基準」等適用前の数値を記載

5. セグメント情報（不動産業）

- 不動産賃貸業では、新規物件の稼働などにより増収
- 不動産販売業では、リノベーション物件の売上減などにより減収

(単位：億円、%)

	2021年度第3四半期の業績		
	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	333	321	△11（△3.6）
（不動産賃貸業）	275	279	4（1.6）
（不動産販売業）	117	97	△20（△17.5）
（その他）	16	20	3（22.4）
（消去）	△76	△75	0（—）
営業利益	80	82	2（3.2）

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用

※下段（ ）は「収益認識に関する会計基準」等適用前の数値を記載

6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

■ホテル業では、10月～12月は稼働率の回復があったが、依然として宿泊需要は低迷

（単位：億円、%）

	2021年度第3四半期の業績		
	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	179	232	53（29.6）
（ホテル業）	161	197	35（22.1）
（旅行業）	16	28	12（73.7）
（広告代理業）	54	41	△12（△23.9）
（その他）	30	37	7（23.1）
（消去）	△83	△72	11（—）
営業利益	△147	△101	45（—）

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用

※下段（ ）は「収益認識に関する会計基準」等適用前の数値を記載

7. セグメント情報（その他業）

- ビル総合管理業および車両整備業では、受注減などにより減収
- 建築・土木業では、完成工事高の増加などにより増収

(単位：億円、%)

	2021年度第3四半期の業績		
	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	415	396	△19 (△4.7)
(ビル総合管理業)	177	164	△13 (△7.5)
(車両整備業)	61	57	△3 (△6.4)
(建築・土木業)	115	125	9 (8.5)
(その他)	62	63	1 (1.7)
(消去)	△1	△14	△12 (—)
営業利益	28	29	0 (1.5)

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用

※下段（ ）は「収益認識に関する会計基準」等適用前の数値を記載

8. 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2020年度 実績	2021年度 第3四半期 実績	増 減	増 減 要 因
総 資 産	9,126	9,042	△83	運転資本の減少など
負 債	5,682	5,657	△24	工事代金の支払いなど
純 資 産	3,443	3,385	△58	剰余金の配当など
負債及び純資産	9,126	9,042	△83	

有利子負債	3,996	3,945	△50	
自己資本比率	37.7	37.4	△0.3P	

※ 有利子負債は、借入金+商業・ペーパー+社債により算出している。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。